



Architecture  
Presentasision

architect  
Tsutomu Hasebe

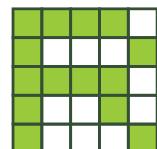
長谷部 勉



Bauhaus Project



建築家と建てる家を、  
身近に、手軽に



R+house

### 注記文

※建築家住宅(建築士の資格を有する独立した建築家により基本設計された住宅)  
主要供給事業者9社における2017年度～2019年度新築供給数  
(株)矢野経済研究所調べ 2020年8月現在







担当建築家

長谷部 勉

Hasabe Tsutomu

H.A.S.Market@東京

敷地の固有性と生活の多様性を読み解し、  
その場所だけ、そこに住む人だけの豊かで快適な家づくりを心掛けています。  
情報やイメージを共有しながら、ひとりよがりにならない設計のプロセスを踏むことを  
大切にしています。いかなる問題にも妥協することなく効果的な解決策を見出しながら  
価値のある家をつくり続けたいと思っています。

### Profile

- 1968年7月 山梨県出身。
- 1991年3月 東洋大学工学部建築学科 卒業
- 1991年4月 株式会社堀池秀人 都市・建築研究所 入社
- 2000年4月 株式会社服部建築計画研究所 入社
- 2002年5月 株式会社アイ・ビー・エス 入社
- 2002年12月 有限会社 H.A.S.Market 設立
- 2005年10月 日本フードアナリスト協会 評議委員
- 2006年9月 東洋大学非常勤講師
- 2013年4月 一般社団法人 建築家住宅の会 理事

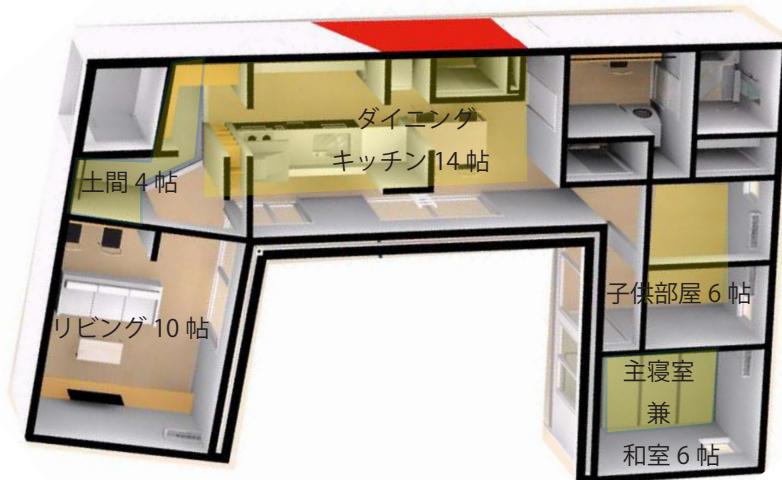
敷地面積：258.12 m<sup>2</sup> (70.08 坪)

1 階床面積：84.47 m<sup>2</sup> (25.55 坪)

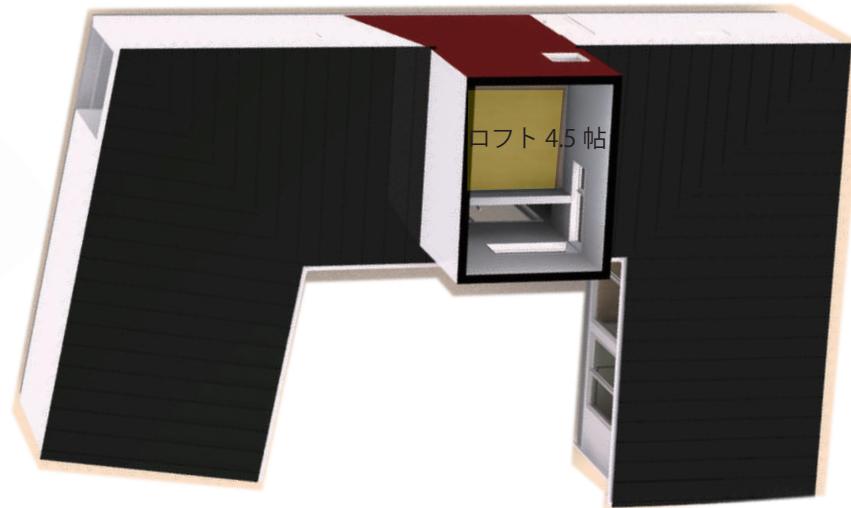
2 階床面積：7.45 m<sup>2</sup> (2.25 坪)

延べ床面積：91.92 m<sup>2</sup> (27.80 坪)

1F



2F



# 想いを灯す家

## POINT①

遊び心盛りだくさん！！ボルダリングと秘密基地のある家

## POINT②

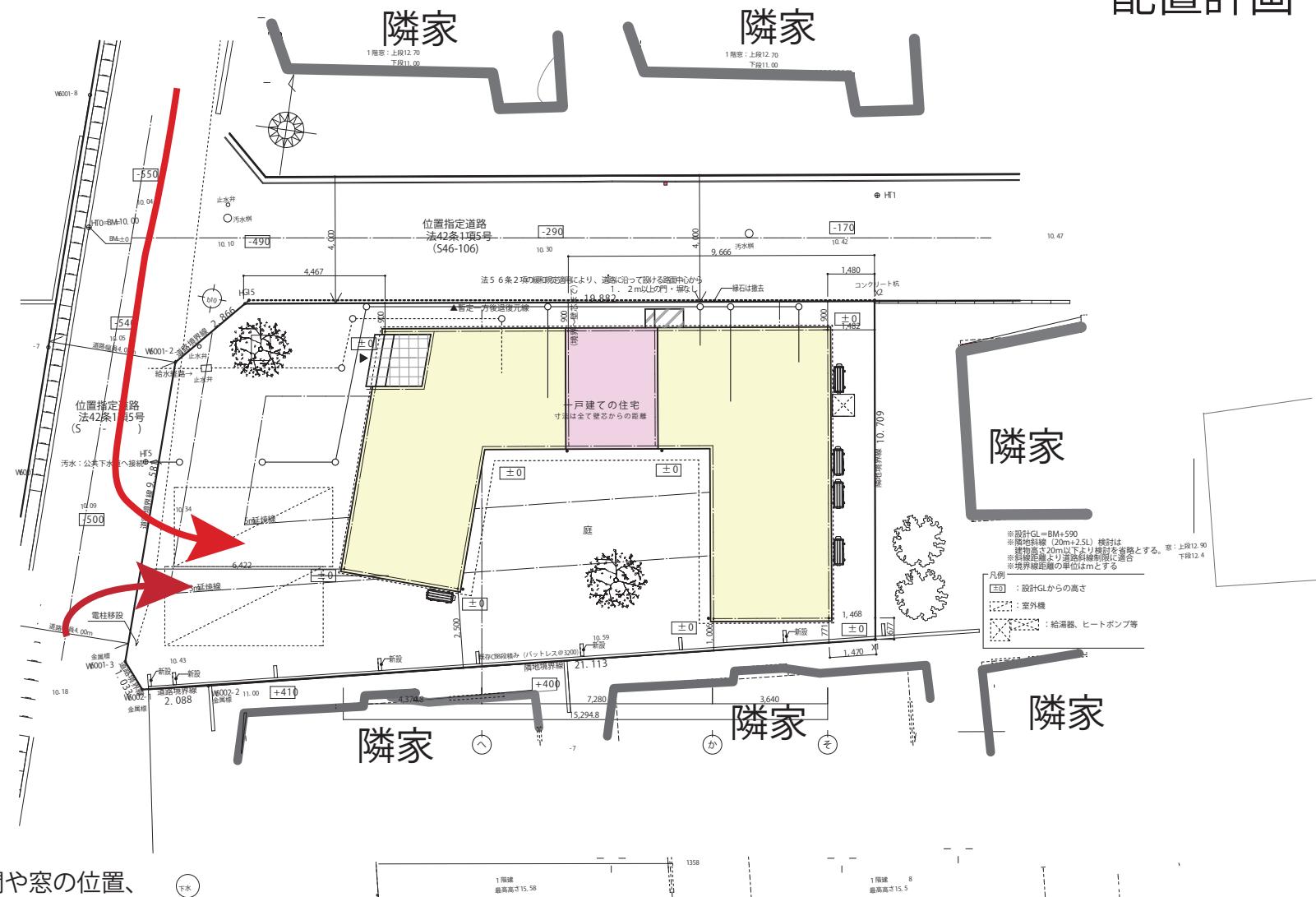
周りを照らす街灯のようなデザイン

## POINT③

パブリック空間とプライベート空間を繋ぐ光の庭

## block planning

## 配置計画



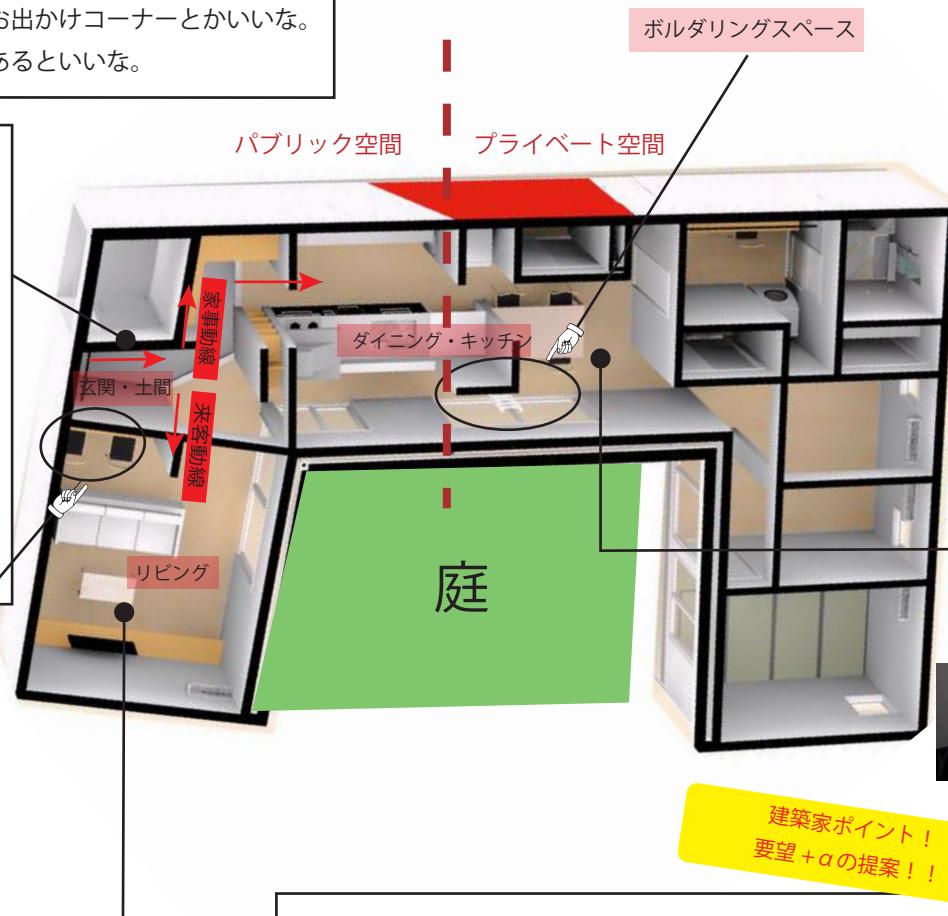
## 玄関・土間



実家からよく野菜をもらうことが多いので保管できる場所が欲しい。コートを掛けたり出来るお出かけコーナーとかいいな。雨がしのげる程度の自転車置場があるといいな。



土間を一部凹ませることで一時的に自転車も置けるようにしました。土間には、コート掛けを配置。カッパや傘が濡れても気にせず置くことができます。また、観葉植物やご両親からもらった野菜を置いたり、ベビーカーや三輪車などを置けるようにし、何もない土間よりあえて生活感を出し自由に使える土間にしました。



## リビング



リビングは庭に面していて明るいほうが良いな。子供達がリビングで勉強できるようなスペースも欲しい。



ボルダリングスペースを中心にプライベートとパブリックな場所を分け、リビングに直接お客様を招き入れるリビングアクセス型を設けました。日本の家は、ほぼ北側から入って南側に最後リビングがあるので寝室や水回りを通してリビングへ行くが、リビングを最初に設けることで来客の際にリビングにすぐお客様を招き入れられるのでとても理にかなった間取りだと思います。スタディースペースも設けお子様が勉強したりゲームしたり、皆が集まってリビングで過ごすことが出来るようにしました。

## ダイニング・キッチン



子供と一緒に料理を楽しみたい。対面キッチンで家族が繋がっているかんじがいい。キッチンを中心に明るくて、自然と皆が集まって来る感じとか素敵だな・・・

建築家ポイント!  
要望 +αの提案!!



建築家ポイント!  
要望 +αの提案!!

家の中の司令塔として、キッチンからリビング・ダイニング・庭などすべてを見渡すことができます。また、玄関からの家事動線もスムーズで、回遊性も持たせいでるので広々として使いやすくお子様との料理も可能ですし、キッチンの続きを読むでダイニングテーブルを配置することで配膳や片付けがスムーズに行えます。

キッチンの後ろには、大きなパントリーとカウンターを設け買い物した食材はもちろん調理器具なども十分収納できます。

北側には勝手口を設けてここからゴミを出したり、ご実家からいただいた野菜なども出し入れができます。



## 洗面・脱衣スペース



料理しながら、洗濯物→干すといった動線にしたい。  
洗濯してそのまま同じ場所に部屋干して、畳んだ衣類はそのまま掛けられるのが理想。

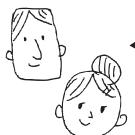


キッチンのすぐ横に洗面スペースを広めにとつて造作カウンターを付けました。カウンター上部に部屋干しスペースを作ることで、洗濯→干す→そのまま着るなんてことも可能です。  
洗濯に関する家事動線が、ほぼこの空間で完結します。

建築家ポイント!  
家事動線と空間のつながり



## 和室兼主寝室・子ども部屋

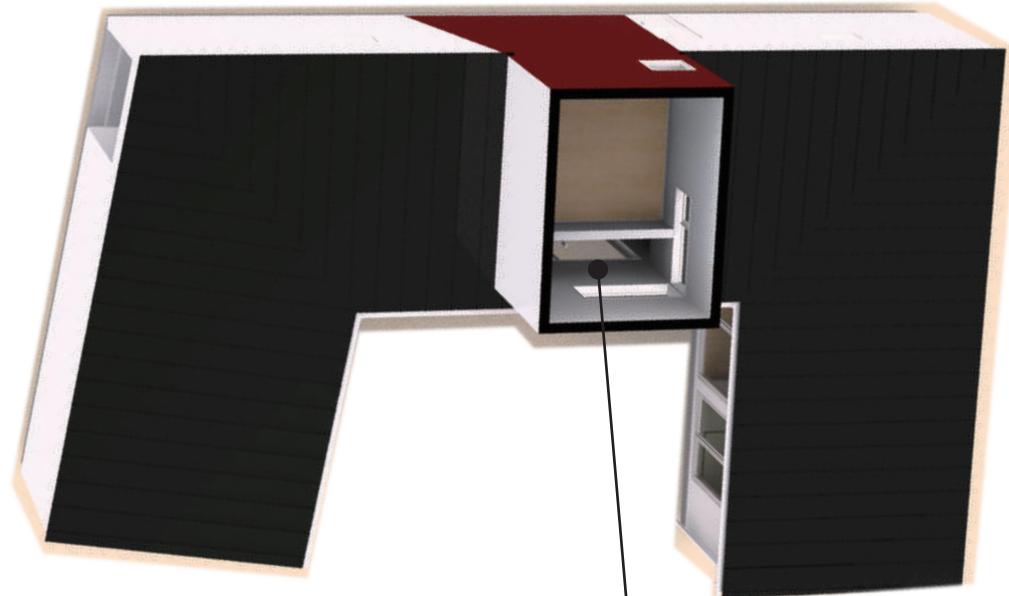


主寝室は寝れるだけの広さがあれば十分。  
布団派なので畳でいい。  
畳があると落ち着く。  
子ども部屋は将来分けるようにしたい。



主寝室は和室兼用とし、布団が2枚敷けるスペースを確保。  
子供が小さい内は家族皆で寝ることも可能です。  
お子様に個室が必要になったらそれぞれの子ども部屋を使っていただければと思います。それまではご主人や奥様の趣味の部屋として使えるし、ゲストルームの役割も果たしてくれます。





## ロフトスペース



もともと山登りをしていたので、ボルダリングをずっとやってみたいと思っていた。  
家の中でボルダリングがどこか出来るといいな。  
あと、近くで花火が上がる所以花火が見れるようなロフト的なこもり部屋が欲しい。



建築家ポイント！  
要望+αの提案！！

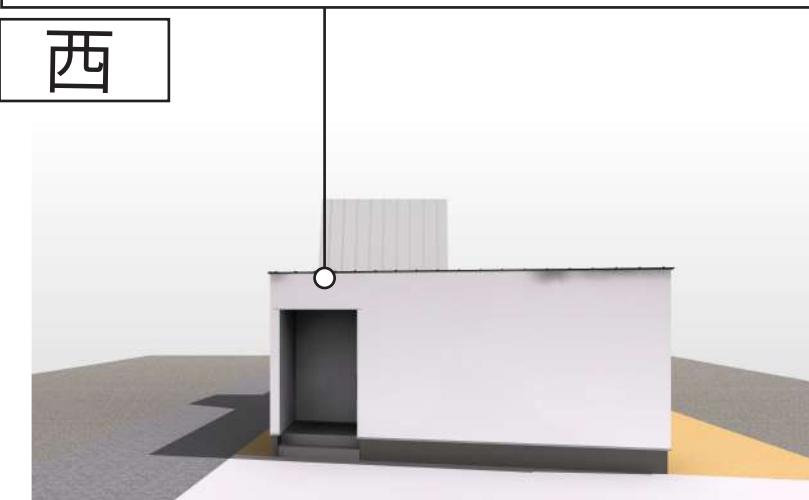
中央に設けたキッチンとダイニングの上部には屋根裏収納を設け、それに物見台としての機能を付与することで、物見台に登ると辺りは一斉に開けるといった構成にしました。  
その物見台は光を貯める貯蔵庫としての役割を併せ持つとともに、この家のシンボルになるでしょう。  
キッチン前にボルダリングの壁を設け、2階部分から光を取り入れ光の筒の中でボルダリングするような配置とし、2階部分は360度見渡せる展望台にもなり、念願の花火も十分に見ることが出来ます。



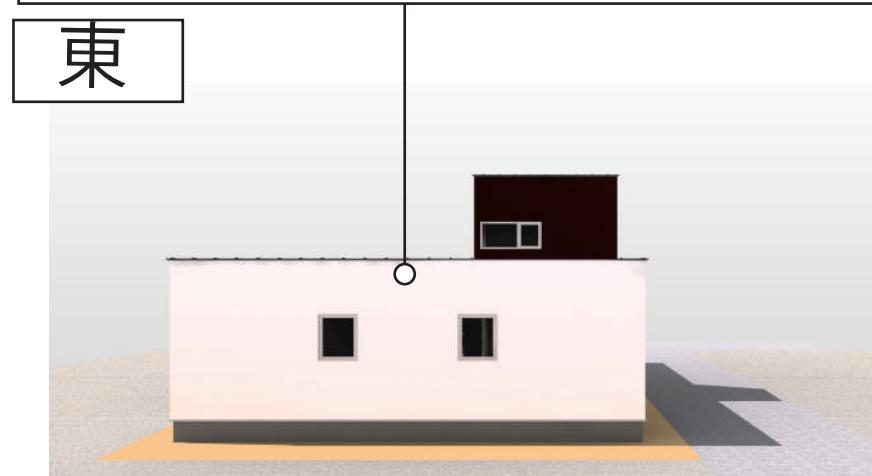
西側と東側を繋ぐ南に開いた中庭。隣家との距離を確保しつつ、太陽の光をたっぷりと取り込めるよう窓を配置。囲われているため視線も入らない。



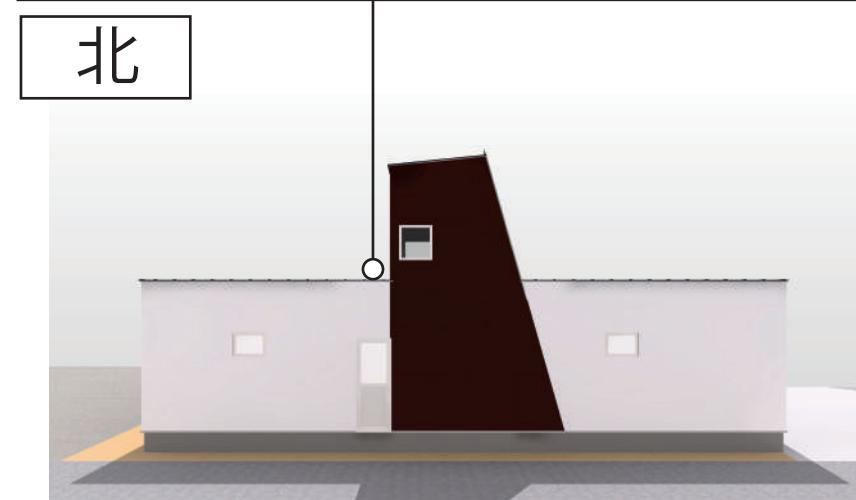
プライバシーを考慮し、玄関から室内へ入るとき室内が見えないようなドアの位置。道路側のため閉じたイメージに。  
そうすることで道路からの視線も気にすることなく、西日も入りにくい。



東側は隣家があるため、北側同様視線に考慮された窓の配置でプライバシー性を保っている。



道路沿い+向かいに隣家があるため大きく開かず北から入る柔らかな光を取り込める窓の配置。



## 熊本風配図

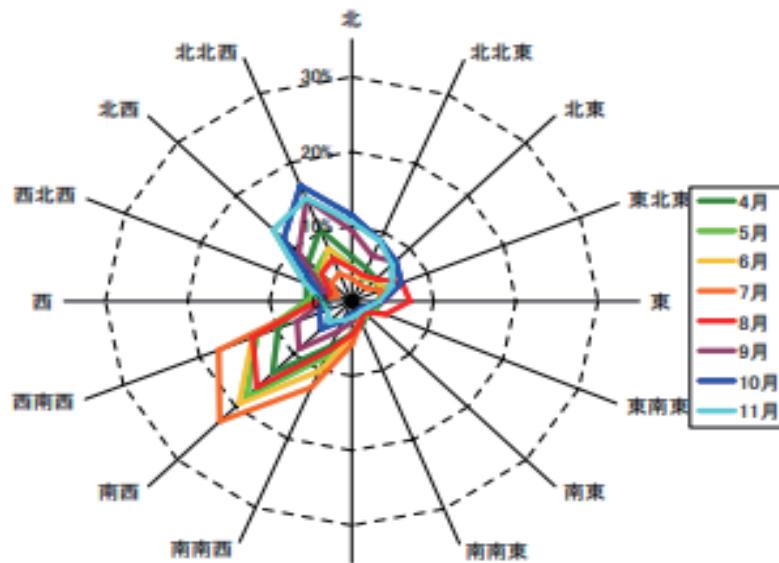


図4a 月別風配図(起居時)

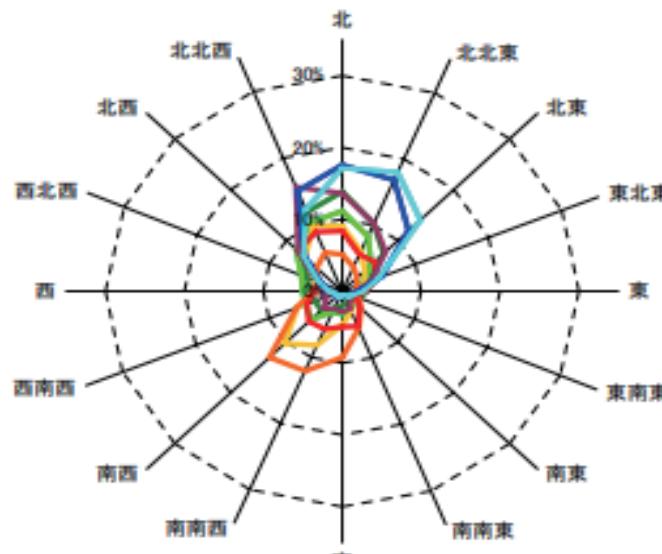
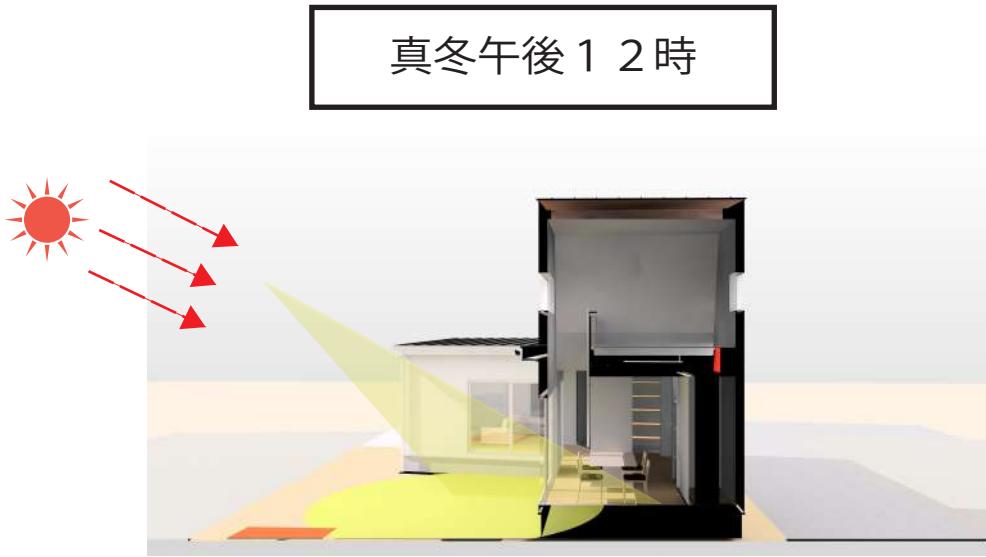


図4b 月別風配図(就寝時)

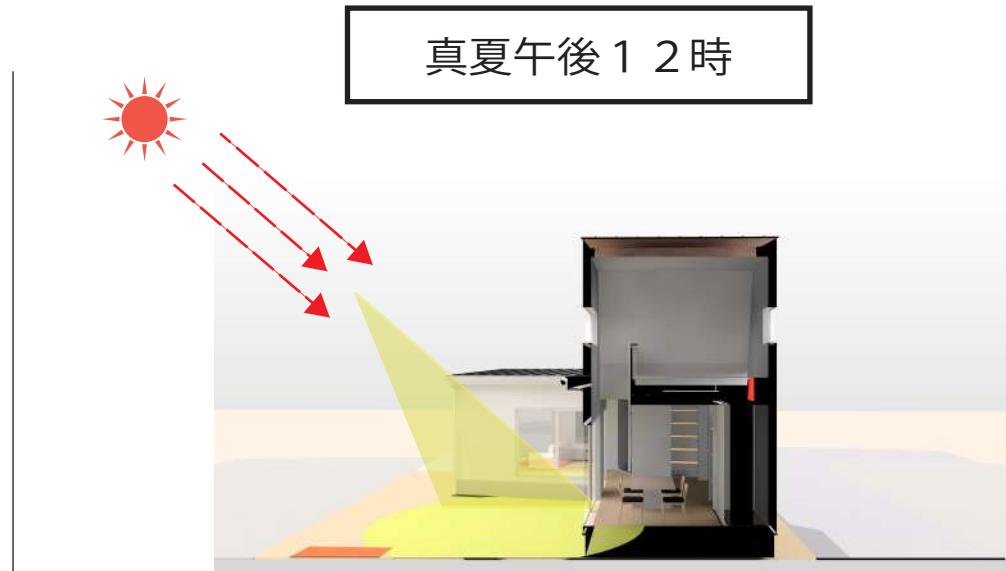
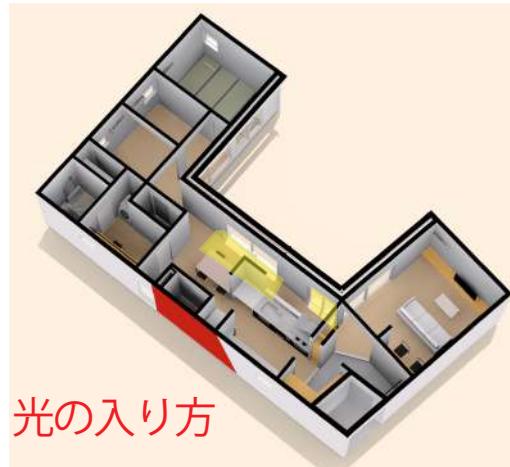
風配図とは、各方位の風向および風速の頻度を表した図です。

建築家は周辺の建物や環境を実際に目で見て、データと照らし合わせながら風の向きや、入り方なども計算して「窓の配置」「窓の種類」「建物の配置」を決めていきます。

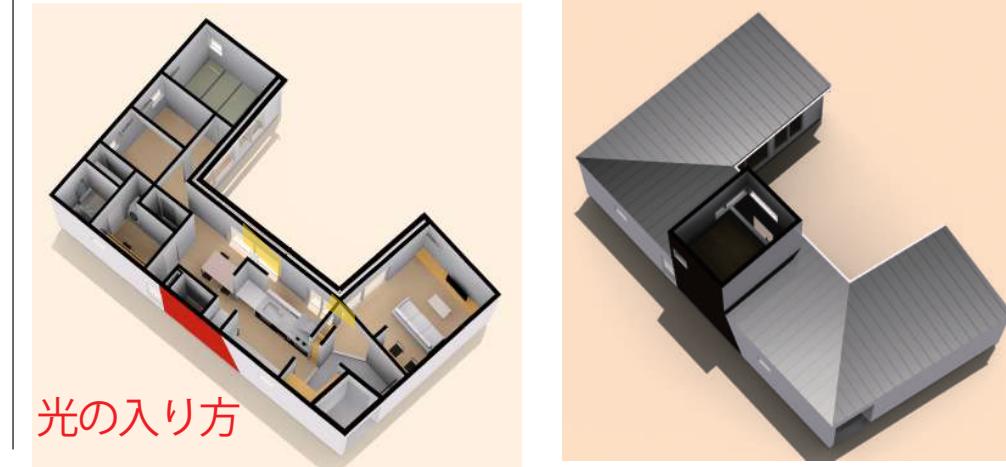
冬は部屋の奥まで光を取り込み暖かく、夏は窓から入る直射日光を避け、涼しく  
自然の力を最大限活かしたパッシブ設計。



(冬至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が低くなる為、太陽が西に傾く頃、窓から部屋の奥まで暖かい光を取り込むことができる。



(夏至) 太陽の南中高度（太陽が真南にきて、一番高く上がった時の地平線との角度）が最も高くなる為、軒を出して日射を遮り、室温の上昇を抑える。



夏と冬では太陽の位置が異なります。建築家は季節ごとに変わる太陽の動きも熟知した上で設計します。